

2023
vol.62
no. 2

写真測量とリモートセンシング

小特集 「2022年の災害」「SLAM（手持ちレーザスキャナ）その1」

目次

〈巻頭言〉 デジタルツインの深層	巖 網林	55
〈カメラアイ〉 第三世代デジタル航空カメラ DMCIIIの特徴と今後の展開	佐野晃一, 寺川 衛, 中野一也	56
〈小 特 集〉 「2022年の災害」		59
〈小 特 集〉 「SLAM（手持ちレーザスキャナ）その1」		62
〈研究速報〉 テクスチャ情報と色情報を用いた ポーリングコア画像からの透水係数の推定	平岡 透, 田川菜緒, 片山徹也, 中川 啓	67
〈研究速報〉 3次元都市モデルを用いた都市部の建物の屋根面・壁面の日射量の推定	高橋元気, 竹本 孝, 松岡龍治, 稲澤智昭, 十河伸一郎	73
〈活動報告〉 国際協力委員会アンケート報告書	竹内 渉	79
〈活動報告〉 第31回 生研フォーラム 「宇宙からの地球環境・災害のモニタリングとリスク評価」	竹内 渉	86
〈文献抄録〉 What Is ChatGPT Doing...and Why Does It Work?	田中至道	88
〈文献抄録〉 Sub-continental-scale carbon stocks of individual trees in African drylands	大吉 慶	89
〈会のうごき〉		91
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		93

表紙説明：超解像とは、解像度の低い画像では不鮮明な細部の情報を復元する技術のことで、テレビや映像の世界で発展している。表紙の背景画像は、Sentinel-2のトゥルーカラー合成画像であり、その中の円で囲まれた画像は、Sentinel-2画像から深層学習により生成した超解像画像である。深層学習を用いた超解像は、学習に基づいて細部を復元する方法のため、復元された情報が必ずしも現実と一致するとは限らないことに留意する必要があるが、概して自然な画像を生成することが可能である。今後、この技術分野の発展によって、農業や環境等の様々な分野への応用が期待される。

表紙背景画像：Sentinel-2 衛星画像 (10m 解像度)

クレジット：Contains modified Copernicus Sentinel data [2021]
processed by Sentinel Hub

表紙円内の画像：超解像画像 (2.5m 解像度)

©2023 アジア航測株式会社

編集委員

委員長	織田和夫	(アジア航測(株))
委員	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	今井靖晃	(国際航業(株))
	上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
	岸本紀子	(国土地理院)
	木寺幸司	(日本測量協会)
	窪田 諭	(関西大学)
	高橋 陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学)
	沼田洋一	(アジア航測(株))
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京大学)
	政春尋志	(元 東洋大学)
	吉野邦彦	(東京大学)
	李 勇鶴	((株)パスコ)
	力丸 厚	(長岡技術科学大学)

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧ください。

<http://www.jsprs.jp>

E-mail: office-jsprs@jsprs.jp